関係団体ヒアリング　学校教育分野（報告）

1　日　時　令和元年 7 月 16 日（火）　19：00～20：10
2　場　所　長崎市役所馬町ビル３F　会議室
3　団体名　長崎市 PTA 連合会
4　参加者　長崎市 PTA 連合会役員　9 名
関係所属：学校教育課、教育委員会総務課、施設課、適正配置推進室、
生涯学習課、市立図書館、健康教育課、教育研究所、こどもみらい課 11 名
合計 20 名

参加者の主なご意見

✿10 年前から良くなったこと✿

- 中学生までの医療費の補助ができた。
- 子どもも大人も IT の活用が増えた（悪い面もあるが）
- 給食が良くなった。温かいものが食べられるようになった。
- 小学校に英語教育が導入された。
- 各学校の図書室に司書の人が配置された。
- 電子黒板が導入される等 IT 化が進んだ。
- 特別支援教育が充実した。
- 学校のグランドが整備され、状態が良くなった。

✿10 年前から悪くなったこと・最近困っていること✿

- 外に出て遊ばなくなった。
- 子ども会がなくなってきた。
- 学力や運動能力の二極化が出てきた。できる子、できない子の差が大きくなってきた。

- 保護者の子育てや PTA への関わり方が二極化し、関わってくれる人と無関心の人、孤立している家庭もあり支援が必要ではないかと感じる。
- 個人情報の取扱いが厳しく、PTA 活動が不便になった。
- 子どもの数が減ってきている。10 年前と全然違う。
- 中学受験をする人が増えている。（学習面での不安があることが考えられる）
- PTA が任意加入で、入らない親御さんがいる。昔は入るのが当たり前だった。
- 親の働き方が変わってきて、忙しい家庭が増えたのに、地域の会議や団体も増えている。どこかの団体の役員になったら他の団体の役員にもならないといけない状態。
- 育成協とこどもを守るネットワークの関係の問題。小学校区や中学校区等範囲が違い、忙しさも異なるなか、なかなか統合しにくい。
- SNS の普及に伴い SNS 上のいじめなどが発生している。

✿これから 10 年間、市にして欲しいこと✿

- 夏休みを短縮してほしい。英語とかが必須科目になる中で、授業数は足りているのか心配。
- 将来的にはスマホは学校に持ち込み OK の時代が来ることが考えられるので、学校でのスマホの規制を保護者とよく話し合い、情報交換をしてから導入してほしい。
- 人口流出が多くなっているので、子どもたちに長崎に残ってもらうためにも、教育にお金をかけてほしい。
- どこにいても仕事ができるように、市内隅々で使えるようネット環境の充実を図ってほしい。
- 人口流出は仕方ない。一旦は外の世界を見るべきと思っている。子どもが大学進学等で市外に出ても就職で戻ってくるような環境づくりをしてほしい。
- 調整区域になっている地域は規制上、新しい家が建てられない（農地の問題で）。地区から人が出て行ってしまう。地区が崩壊してしまうので、過疎化を止めるための取組みをしてほしい。
- これからも市 PTA と行政のつながりを大切にしていただきたい。メンバーは入れ替わっていくが、幹部の方などは皆さん非常に魅力的。すべての子供たちのために頑張ろうという方ばかり。人口流出を食い止めることや、地域コミュニティの活動などのキーパーソンになる方ばかりであるため、関係を良好に保って、PTA の人々の力をうまく使ってほしい。
- 地域の育成協等の各団体の統合は地域ごとに特性もあってなかなか難しいかもしれないが、知恵を出し合って、整理できないかなと思う。
- 学校の統廃合後の跡地活用の検討を行ってほしい。
- 学校の統廃合があっても教員の数は保ってほしい。
- 行政の縦割りを何とかしてほしい。地域に出てくるときに、内部で十分な打ち合わせ、連携がなされていないので、きちんと内部で事前に連携して地域に出てきてほしい。
- 市組織の中に同じような取組みをしている別の組織があるので、関わっている市民からすると、様々な会議に顔を出さなければいけなかったりする。統合的に市として提案してほしい。
- プロジェクトチームのように所属や役職の垣根を越えたチームを作って、市として検討をしてほしい。
- 育成協の事務仕事を学校の先生がしているという現状がよく見られたり、教頭先生がいるから育成協が成り立っているという所もあるので、先生たちの働き方改革のためにも育成協等の在り方を今の時代に合ったものに変えていってほしい。先生たちに充実した教育をしてもらうのが、子

どもたちのためになる。

✿これから 10 年間自分たちでしたいこと✿

- 保護者で子育てや教育や PTA に関心が無い方に関心を向けてもらうための方法を皆で考えたい。特に若い親御さんが PTA 活動に入ってこられない雰囲気にあるのではないかと考えている。
- 市 PTA の会議や地域の会議には高齢の方が多いというのが現状であるので、若い方に集まってもらって、意見を交わすような場を作っていきたい。